

事務事業名	子ども家庭総合支援拠点事業	事業期間	2004 ~	年度	係内番号	01
担当部署	こども部	こども課	こども・家庭相談係	連絡先	615	

政策番号	02	基本計画体系	項目	計画CD	計画名称	施策の柱CD	施策の柱の名称	実行計画の施策の柱における指標との関連度	高
			基本計画①	01	教育大綱	0102	社会的援助を必要とする子ども・家庭への支援		
			基本計画②	01	こども・家庭応援計画	0601	相談窓口の充実と活用		
			実行計画	01	こども・家庭応援計画	0601	相談窓口の充実と活用		

予算事業名	子ども家庭総合支援拠点事業費	会計コード	01	款	03	項	02	目	01	事業	04
-------	----------------	-------	----	---	----	---	----	---	----	----	----

事務事業の概要  
(簡潔にわかりやすく)  
 ①家庭児童相談員、子ども家庭支援員、スクールソーシャルワーカー、スーパーバイザーの配置により相談業務の充実を図る。  
 ②家庭教育カウンセラーによるカウンセリングの実施により、保護者の心身の安定を図り、複雑な相談に対応する。  
 ③どんぐり手帳の作成、配布。どんぐり手帳の活用を推進することで必要な支援が継続して受けられるようにする。

現状と背景  
(どうして)  
 核家族化が進み身近に育児について相談する人がいない、また相談が苦手な悩みを抱え込み孤立化する保護者が増加している。保護者の相談は子供の発達や育てにくさ等育児やしつけに関することから家庭の経済、保護者の病気等育児以外の悩みや不安にわたり簡単には解決しない内容が多い。保護者の不安や悩みは子供への虐待につながる可能性が高く、虐待の早期発見、予防のためにも多職種の相談員を配置し、市民がすぐに相談でき、問題解決に至るまで総合的、継続的に支援ができる体制やどんぐり手帳等相談者が相談しやすいツールの作成、活用推進が必要である。

目的  
 対象 受益者 (誰のために)  
 子育てに悩み、不安や悩みを抱えている子供、保護者等

対象 対象 (直接働きかける)  
 子育てに悩み、不安や悩みを抱えている子供、保護者等

留意点 (どんな状態にしたいか)  
 育児の方法が分からない、しつけや教育に自信が持てない等不安や悩みを抱える保護者の相談を受け、虐待の早期発見、予防に努める。どんぐり手帳に必要な支援情報を記載、綴ることによって、支援が必要な子ども達が継続して支援を受けられるようにする。

手段・方法 (どうやって)  
 ①家庭児童相談員1名、子ども家庭支援員1名、スクールソーシャルワーカー3名(内1名は県からの派遣)、スーパーバイザー1名を配置し、0~18歳までの子どもや保護者の相談に随時対応する。  
 ②家庭教育カウンセラーによるカウンセリングを予約制で月2回実施する。(第1・3週水曜日(偶数月5枠、奇数月4枠) 午前11時00分から5時00分まで)  
 ③どんぐり手帳を作成し、それぞれの窓口での配布を促す。年数回、活用推進委員会を開催し、活用を推進する。

活動指標	行政が活動することで作り出すもの	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
1	子ども家庭支援拠点の周知	広報掲載、チラシ配布回数	回	広報掲載、チラシ配布回数	14
2	相談、カウンセリング相談件数	相談、カウンセリング相談件数	人	当年度相談、カウンセリング件数	2,500
3	どんぐり手帳活用検討会議等回数	会議回数	回	会議を開催した回数	3

変更履歴  
 指標2の最終目標値は年度内実績数記載し、年度ごとの推移を見ていく。(H29年度実績2515件)

成果指標	成果・効果は何?	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
1	相談者からの相談が解決した割合	相談解決の割合の増	%	相談終了数÷相談件数 × 100	100
2					

実施状況	項目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
			事業費等(a)	円	12,180,703	15,196,416	17,104,000
財源内訳	国庫支出金	円	2,195,000	2,777,000	2,857,000		
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
	一般財源	円	9,985,703	12,419,416	14,247,000		
活動指標	広報掲載、チラシ配布回数	目標	14	14	14		
		実績	14	14			
	達成率	%	100.00	100.00	-	-	-
	相談、カウンセリング相談件数	目標	2,500	2,500	2,500		
		実績	2,955	3,654			
	達成率	%	118.20	146.16	-	-	-
会議回数	目標	3	3	3			
	実績	3	3				
達成率	%	100.00	100.00	-	-	-	
成果指標	相談解決の割合の増	目標	100	100	100		
		実績	100	100			
	達成率	%	100.00	100.00	-	-	-
	目標						
実績							
達成率	%						
備考							

事務事業名	子ども家庭総合支援拠点事業	事業期間	2004 ~	年度	係内番号	01
担当部署	こども部	こども課	こども・家庭相談係	連絡先	615	

事後評価	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	変果動指要標因分	～成	今年度相談件数が大幅に増加したが、こども家庭相談支援拠点設置により総合的かつ継続的に対応ができた。複雑化した問題は簡単に解決はしないが、虐待、二次障害予防のため早期介入を図りたい。前年度から家庭教育カウンセリング枠が増えたが、需要は高く予約が常に埋まっていた。	昨年度より相談件数は増加したが、要対協担当者研修の受講等それぞれの職員がスキルアップに努めた他、県のスクールソーシャルワーカー、スーパーバイザーの配置により円滑な相談対応が出来た。		
価値	成果	今年度予算増額によりカウンセリング回数、相談利用者が増え、より多くの保護者がカウンセリングを受けることができた。また、子ども家庭総合支援拠点設置により他職種で相談を受け、保健、福祉、教育分野との連携強化も図れた。	PRを積極的に行うことで各家庭や関係機関に拠点が周知され相談件数は増加した。対応が難しい虐待ケースについてはR元年度配置されたスーパーバイザーの助言指導や児相との連携があり48時間以内の安否確認やその後の支援に繋げることができた。カウンセラー事業は子育てに悩む保護者の相談に対応し今年度も需要は大きかった。不登校相談におけるSSWの需要も大きく、学校と連携して相談者の支援が出来ている。			
	課題	相談件数が増加し、相談内容も複雑化しているため医療、福祉制度に精通したソーシャルワーカーや心のケアをするカウンセラーの配置が望まれる。家庭教育カウンセリングは常に予約が埋まっているため、今後も回数を増やしたい。	相談内容は多岐に渡り助言指導で終了しない相談が増加している。虐待や二次障害等複雑なケースも多く、対応についてはより専門的なスキルが必要となっている。発達支援センターと連携を図りながら問題が重篤化する前に対応するとともに、医療、福祉、教育分野との連携もより強化していく必要がある。			
改革	成果	拡充	拡充			
	コスト	拡大	現状維持			
改善の方向性	成果	子育ての困難さから虐待に至る家庭や的確な支援がされず不登校や不適応症状等二次障害を起こす児童が増えている。家庭や児童に早期介入することによって問題を未然に防ぎたい。相談件数の多い少ないで事業評価は難しいが、問題が重篤化した場合はより厚い支援が必要になり、相談対応件数も増す。問題の早期終結には、現相談員とともに医療、福祉に精通したソーシャルワーカーやカウンセラー等専門職員の増員が必要である。また、支援を継続するためのツールであるどんぐり手帳は見直しを図りながら作成を継続したい。	子育ての困難さから虐待に至る家庭や的確な支援がされず不登校や不適応症状等二次障害を起こす児童が増えている。保育園、学校等への研修(虐待)の実施や子育て世代包括支援センターとの連携を強化し家庭や児童に早期介入することによって問題を未然に防ぎたい。多岐に渡る相談について他職種で対応しているが、虐待については相談内容が重いことや的確な初期対応が求められるため正規職の配置を要求したい。児相は保護を要する重篤ケース、軽度、中度ケースは市町村対応と役割分担がされてきているため茅野市として虐待対応できる体制の見直しが必要と思われる。スクールソーシャルワーカーについては不登校相談が増加していることから今後の状況をみながら勤務日数等を検討していきたい。			
	改善の方向性					
策	策					
作成担当者	高橋 美紀子	高橋 美紀子				
最終評価責任者	五味健志	五味 留美子				
最終評価年月日	2019年5月17日	2020年7月3日				

事務事業名	地域活動事業・子育て支援事業	事業期間	～	年度	係内番号	06
担当部署	こども部	幼児教育課	幼児教育係	連絡先	622	

政策番号	02	基本計画①	01	教育大綱	0103	地域が支える子育て環境の充実	実行計画の施策の柱における指標との関連度	中						
		基本計画②	01	こども・家庭応援計画	0603	保育所等における子育て家庭の保護者支援の充実と継続								
		実行計画	01	こども・家庭応援計画	0603	保育所等における子育て家庭の保護者支援の充実と継続								
		項目	計画CD	計画名称	施策の柱ID	施策の柱の名称								
予 算 事 業 名	地域活動・子育て支援事業費				会計コード	01	款	03	項	02	目	02	事業	08
事務事業の概要	地域の実情や保育園の体制等を踏まえ、地域の保護者に対する子育て支援を行っている。地域の子育ての拠点としての機能を以下の4項目を重点に事業を行っている。①子育て家庭への保育園の機能や設備の開放・体験保育②子育てに関する相談や援助の実施③子育て家庭の交流の場の提供および交流の促進④地域の子育て支援に関する情報の提供													
現状と背景	核家族化が進む中、身近に話し相手がいなかったり、安全な遊び場がなかったりなど、子育て家庭が孤立しているといわれている中で、安心、安全で親子を温かく受け入れてくれる施設として保育園の役割はますます期待されている。													
目的	受益者	0歳児から保育園入園までの未就園児とその保護者												
	対象	0歳児から保育園入園までの未就園児とその保護者												
手段・方法	意 図	地域に開かれた保育園は、子育て家庭にとって心強い存在となっている。気軽に訪れ、相談できる園が身近にあることで子育てする上での安心感につながり、育児不安を和らげ、虐待を防止することにもつながる。また、園への親近感、信頼関係も築くことができ、安心して園に送り出すことができる。												
	方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 育児相談及び相談機関の紹介</li> <li>2 子育て家庭の交流の場を作る</li> <li>3 在園児や高齢者との交流</li> <li>4 子育て講座・講演会・家庭教育学級の開催</li> <li>5 子育て情報の提供</li> </ol>												
評価指標の作成	活動指標	行政が活動することで作り出すもの	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値								
		1	育児相談数	育児相談数	件	全保育園の育児相談数	288							
		2	子育て支援事業の参加者数	子育て支援参加人数	人	全保育園子育て支援事業参加人数	4,500							
	変更履歴													
成果指標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値									
	1	地域活動・子育て支援事業の参加者	1回の参加者人数	人	参加延べ人数/地域活動・子育て支援事業回数	41								
	2													
変更履歴														

実 施 状 況	財 源 内 訳	項 目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
		事業費等(a)	円	1,411,036	1,345,683	1,450,000			
		国庫支出金	円						
		県支出金	円						
		地方債	円						
	活 動 指 標	育児相談数	目標	件	288	288	288		
			実績		168	151			
			達成率	%	58.33	52.43	-	-	
		子育て支援参加人数	目標	人	4,500	4,500	4,500		
			実績		3,048	4,749			
			達成率	%	67.73	105.53	-	-	
		-	目標	-					
			実績						
			達成率	%	-	-	-	-	
成 果 指 標	1回の参加者人数	目標	人	41	41	41			
		実績		22	20				
	達成率	%	53.66	48.78	-	-			
	-	目標	-						
実績									
達成率	%	-	-	-	-				
備 考									

事務事業名	地域活動事業・子育て支援事業	事業期間	～	年度	係内番号	06
担当部署	こども部	幼児教育課	幼児教育係	連絡先	622	

事後評価	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	（成果要因分析）	変果動指要標	目標としている参加人数とはなっていないが、ほぼ20人を超える方が参加していただき、園児との交流、相談等が実施され、未就園児や保護者に保育園は子育ての拠点施設であることを周知できた。	参加者数は伸びて、支援内容も充実し、子育て家庭にとっての安心できる拠点となっていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、行事が中止になったり、参加を見合わせる方もあり、全体として1回の参加者数は伸びなかった。		
価値	総合評価	成果	支援事業は月平均2回実施している事業として定着してきている。	参加者の伸びを見ると、子育て家庭の交流の場になっており、複数の園に参加して育児の喜びや課題を共有する方も増えている。また、高齢者交流も園児と地域をつなぐ活動として定着してきて畑作りなど体験とおした交流ができる		
	課題	保育士数の関係で、相談業務に十分対応できていないことが考えられる。	限られた交流時間の中、子どもから目を離さず話をすることが難しく、気安く声を発し相談できないのではないか。			
改革	翌々年度方向性	成果	現状維持	現状維持		
	コスト	現状維持	現状維持			
改善の方向性	改善の方向性	成果	保育士の数を増やすことはすぐには無理だと思われるが、今の人員でもできる内容を工夫し、今後も気軽に保育園に来ることができ、交流、相談ができるようにする。また、園では解決できない相談については「育ちあいの」と連携をし、専門的な支援につながるよう努める。	気軽に相談できるよう、園側から積極的に声をかけたり、子育て相談の時間を短時間でも確保したりするなど工夫する。また、内容によっては別日を取り相談したり、今後もケースによっては「育ちあいの」と連携し専門機関につながるようにしていく。		
	改善の方向性	内容				
策	策					
作成担当者	折井あけみ	折井あけみ				
最終評価責任者	五味留美子	柳澤澄子				
最終評価年月日	2019年5月17日	2020年7月3日				

事務事業名	障害児保育事業(障害児の受入れ)	事業期間	~	年度	係内番号	11
担当部署	こども部	幼児教育課	幼児教育係	連絡先	622	

政策 番号	02	基本計画①	01	教育大綱	0104	生きる力の基礎を培う	実行計画の施策の柱における指標との関連度						
		基本計画②	01	こども・家庭応援計画	0603	保育所等における子育て家庭の保護者支援の充実と継続							
		実行計画	01	こども・家庭応援計画	0603	保育所等における子育て家庭の保護者支援の充実と継続							
		項目	計画CD	計画名称	施策の柱CD	施策の柱の名称							
予 算 事 業 名	保育所運営費			会計コード	01	款	03	項	02	目	02	事業	02
事務事業の概要	市内全保育園、認定こども園で発達上支援を必要とする児童や心身に障害のある児童は、健常児と一緒に統合保育を行っている。その中で加配保育士を配置し、その子に合わせた関わり、環境づくり、保護者支援を行っている。												
現状と背景	障害児保育は年々ニーズが高まっており、健常児と一緒に生活する中でお互いが成長できるよう、児童の特性を十分に配慮し、個々に合わせた支援を行う必要がある。また、児童及び保護者にとって、保育園等が安心安全な場となるような支援が必要である。												
目的	受益者	障害児、障害を持つ児童の保護者											
	対象	同上											
	意 図	加配保育士の確保 関係部署との連携による保育の充実											
手段・方法	「茅野市教育委員会障害児保育事業実施要綱」に基づき事業を実施する。 児童や保護者への支援、担当保育士育成等、発達支援センターと保育園等との連携を図る。 保育士確保のための関係各所との連携 障害児保育の充実のため、保育士の資質向上に努め、家庭との連携を図る。												
評価 指標 の 作成	活動指標	行政が活動することで作り出すもの	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値							
	1	推進委員会、入所審査会の開催	開催数	回	開催数	4							
2													
3													
変更履歴													
成果指標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値								
1	加配保育士確保率	確保率	%	確保数/必要数	100								
2													
変更履歴													

実 施 状 況 （ D O ）	項 目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
	事業費等(a)	円						
	財源内訳							
	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円						
	一般財源	円						
	活動指標	開催数	目標	4	4	4		
			実績	6	6			
			達成率	150.00	150.00	-	-	
	-	-	目標	-	-	-	-	
			実績	-	-	-	-	
達成率			-	-	-	-		
-	-	目標	-	-	-	-		
		実績	-	-	-	-		
		達成率	-	-	-	-		
成果指標	確保率	目標	100	100	100			
		実績	100	100				
		達成率	100.00	100.00	-	-		
-	-	目標	-	-	-	-		
		実績	-	-	-	-		
		達成率	-	-	-	-		
備 考								

事務事業名	障害児保育事業(障害児の受入れ)		事業期間	~	年度	係内番号	11
担当部署	こども部	幼児教育課	幼児教育係			連絡先	622

事後評価	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	変果動指要標因分	変果動指要標因分	支援が必要な園児に対して、加配保育士を配置対応することができた。	支援が必要な園児に対して、加配保育士を配置対応することができた。		
価値	成果	推進委員会、入所審査会を開催し、関係者間での連携がスムーズにとることができている。	推進委員会、入所審査会を開催し、関係者間での連携がスムーズにとることができている。			
	課題	加配が必要な園児が増えた場合、加配保育士の確保が課題となる。また、障害児保育に対する質の向上が必要	加配を必要としている園児が増加傾向にあり、加配保育士の確保が課題となってきた。また、障害児保育に対する質の向上が必要			
改革	成果	現状維持	現状維持			
	コスト	現状維持	現状維持			
改善の方向性	成果	障害児保育は、健常児と一緒に生活する中でお互いが成長できるようするとともに、児童の特性を十分に配慮し、個々に合わせた支援を行う必要がある。そのためには加配保育士の確保は必要不可欠であるため、引き続き保育士募集をする。あわせて、専門性を高めるための研修を引き続き実施していく。	障害児保育は、健常児と一緒に生活する中でお互いが成長できるようするとともに、児童の特性を十分に配慮し、個々に合わせた支援を行う必要がある。そのためには加配保育士の確保は必要不可欠であるため、引き続きあらゆる機会を捉え保育士募集をしていく。あわせて、専門性を高めるための研修を引き続き実施していく。			
	方向性の内容					
策	策					
作成担当者	北沢賢一	北沢賢一				
最終評価責任者	五味留美子	柳澤澄子				
最終評価年月日	2019年5月17日	2020年7月2日				

事務事業名	ファミリー・サポート・センター事業	事業期間	2016 ~	年度	係内番号	06
担当部署	こども部	こども課	こども・家庭支援係	連絡先	613	

政策番号	02	基本計画	項目	計画CD	計画名称	施策の柱CD	施策の柱の名称	実行計画の施策の柱における指標との関連度	中						
		基本計画①	01	教育大綱	0103	地域が支える子育て環境の充実									
		基本計画②	01	こども・家庭応援計画	0602	助けを必要としている家庭及び子供への支援									
		実行計画	01	こども・家庭応援計画	0602	助けを必要としている家庭及び子供への支援									
予 算 事 業 名	ファミリー・サポート・センター事業費					会計コード	01	款	03	項	02	目	01	事業	09
事務事業の概要	地域において子育ての援助を受けたい方と、援助を行いたい方が会員となり、保育施設等（保育所・幼稚園、小学校、学童クラブ等）までの送迎、保育施設等終了後や買い物、冠婚葬祭等の外出時の一時預かり等、子育てについての助け合いを行う相互援助活動に関する連絡、調整を行う。運営を茅野市社会福祉協議会に事業委託をしている。														
現状と背景	「残業になり、保育所のお迎えをお願いしたい」、「休日出勤が入ってしまった」、「習い事の送り迎えをお願いしたい」、「兄弟の他の子の学校行事に参加する間、子どもを見て欲しい」等といった際の子どもの送迎、預かり等の依頼に対して、援助サービスを行うことが、仕事と育児の両立の支援に繋がるため行っていかねばならない。そのためには地域に援助会員を増やして行くことが必要とされている。														
目的	受益者	市内に居住する子育て中の親													
	対象	市内に居住し、健康で本事業に理解と援助活動に意欲のある方													
	意図	援助会員を増やし、育児の援助を受けたい方の要望に対応できるようにしたい。													
手段・方法	援助を受けたい方（依頼会員）と援助を行いたい方（援助会員）を募集し、登録後の、援助を受けたい会員の要望に対応できる会員との連絡、調整を行い子育て支援の仲介を行う。援助会員の資質向上を図るため養成講習会を開催する。														
評価指標の作成	活動指標	行政が活動することで作り出すもの		指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値					
		1	依頼会員登録者数	依頼会員登録者数	人	依頼会員登録者数				50					
		2	援助会員登録者数	援助会員登録者数	人	援助会員登録者数				20					
	3														
	変更履歴														
	成果指標	成果・効果は何？		指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など				最終目標値					
		1	援助活動成立率	援助活動件数	%	援助活動件数				100					
		2													
	変更履歴														

実 施 状 況	財 源 内 訳	項 目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
		事業費等(a)	円	3,000,000	2,339,574	2,624,000			
		国庫支出金	円	720,000	897,000	853,000			
		県支出金	円	720,000	773,000	853,000			
		地方債	円						
	その他特定財源	円							
	一般財源	円	1,560,000	669,574	918,000				
	活動指標	依頼会員登録者数	目標	人	50	50	60		
			実績	人	55	66			
			達成率	%	110.00	132.00	-	-	
		援助会員登録者数	目標	人	20	20	30		
			実績	人	16	44			
			達成率	%	80.00	220.00	-	-	
	-	目標	-						
		実績	-						
達成率		%	-	-	-	-			
成果指標	援助活動件数	目標	%	100	100	100			
		実績	%	100	100				
	達成率	%	100.00	100.00	-	-			
	-	目標	-						
実績		-							
達成率	%	-	-	-	-				
備 考									

事務事業名	ファミリー・サポート・センター事業	事業期間	2016 ~	年度	係内番号	06
担当部署	こども部	こども課	こども・家庭支援係	連絡先	613	

事後評価	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	変果動指要標因分	～ 析	援助会員の高齢化による会員登録の未更新と、援助会員講習会修了者の会員登録がされないことによる、援助会員数が減ってしまった。	社会福祉協議会への委託事業を取止め、平成31年4月から直営事業とした。援助会員を増やすため、養成講習会を3回開催し、会員の声を聞くための会員交流会、研修会を2回開催し、ファミサポ事業説明会を1回開催した。受け手となる援助会員は28人の増加となった。		
価値	成果	現在、援助の依頼には対応できている。しかし、依頼会員の増加が見込まれる中、援助会員数が不足している。	第3回目の養成講習では、一般公開とする講義の枠を設けて、広く関心のある方に聴講していただく機会を作り、ファミサポ活動に関心を持っていただくことができた。地域の子育てに協力していただける援助会員が増加した。			
	課題	現在、援助の依頼には対応できているが、会員数が減少しているの、希望する日時が重なってしまったときの対応ができない可能性がある。地域における子育て支援ができるようにさらに援助会員を増やしていく必要がある。	障害児や外国籍のお子さんなど難しいケースのサポート依頼が増え、援助会員さんの負担が大きくなっている。サポート申込みの際に関係する部署と連携を図りつつ適切な援助活動が行えるように調整をす必要がある。			
改革	成果	拡充	現状維持			
	コスト	現状維持	現状維持			
改善の方向性	改善の方向性の内容	社会福祉法人への事業委託を取りやめ、来年度からは市の直営事業として事業を行っていく。援助会員の高齢化に伴い、地域での会員の減少が続いていることを踏まえ、援助会員の増加に向けて、援助会員講習の開催や会員同士の交流会などに取り組み、会員の声をくみ上げて改善を行っていく。	援助会員数は増加したが、実稼働できる援助会員が限られている。事務局と会員間のコミュニケーションを大切にしながら、必要な人に必要なサポートができるように、個々の家庭の事情に配慮しながら、相互援助活動に繋げていく。			
作成担当者	熊谷 壽美子	熊谷 壽美子				
最終評価責任者	五味健志	五味 留美子				
最終評価年月日	2019年5月17日	2020年7月3日				